

2021.10.7 発行

## 体育祭2021 夢野台高校

9月24日金曜に体育祭が行われました。昨年と同様にコロナウイルス感染症拡大防止のため無観客での開催となりましたが晴天の中、白熱の演技が繰り広げられました。その中で2年生は1組が総合優勝、4組は2位、6組は3位と大活躍しました。

○今年は、緊急事態宣言が延長され、体育祭の開催が危ぶまれましたが、無事皆で体育祭を楽しむことができて良かったです。2-1 綱引き、スウェーデン、総合優勝！とてもいい思い出になりました。2年1組女子

○優勝できてうれしかったです。感染症の影響で短縮という形になってしまったけれど、この状況下で体育祭を開催できるようにしてくださった先生方に感謝したいです。良い思い出づくりができてよかったです。2年1組男子

○例年とは違う形の体育祭でしたが、生徒会の人達や先生のお陰で去年よりも楽しむことができました。私が出た6×100mリレーで、アンカーの子が1位で帰ってきたときの興奮と、そのときに皆で飛び跳ねながらハイタッチをした光景は今でも脳裏に焼き付いています。来年はマスクなしで1日中できますように！2組女子

○今年の体育祭はコロナ禍により午前中のみでしたが、声を出しての応援ができない中、拍手で応援するなど各クラスの工夫も見られ、制約のある中でできることを最大限模索し、楽しむことができた体育祭だったと思います。2組男子

○今年、緊急事態宣言下で体育祭が開催できたのは、生徒会の皆さんや先生方の尽力のおかげです。綱引きではほとんどが接戦でしたが、クラスで一致団結した結果、3位に入賞できたので、良かったです。3組女子

○コロナ禍の影響により、午前のみ開催された体育祭でしたが、得たものや感じたことはとても多かったです。特に綱引きはクラスの秘められた団結力を感じました。時間が短いぶん、密度の濃い体育祭でした。3組男子

○今年のこんな状況下だからこそ、たくさんのクラスが一致団結して体育祭を終えることができたと思います。自分のクラスは準優勝をすることができましたし、例年とは違った形でしたが思い出に残る体育祭にできて良かったです。4組女子

○例年の半分の体育祭。楽しいが不安で始まった。でも終われば「もう一回したい。」が一番に出た。各クラスの代表がリレーを走ったが、仲間を温かい雰囲気の中で応援している人の姿が素敵だなあと考えた体育祭だった。4組男子

○私達5組は良い成績は残せなかったけれど、心から応援する姿、それに応えようとする姿は間違いなく青春そのものだったと思います。短い体育祭でしたが、5組だからこそかけがえのな

い思い出にできました。5組女子

○結果は喜べる順位ではありませんでしたが、どのクラスよりも一致団結して精一杯応援し、全員で楽しめたので、一生の思い出になりました。体育祭を開催していただいたことに感謝をしたいと思います。5組男子

○まず、体育祭が出来たことに感謝したいです。そして今回、リレーでいい成績が残せたこと、大縄ではクラスで一致団結して挑んだ結果96回という大記録を出せたことに満足しています。これからの学校生活も楽しみましょう。6組男子

○体育祭で1番印象に残ったのは、大縄で校内優勝できたことだ。本番で最高記録を出せたことが本当に嬉しかった。クラスメイトの新しい一面を知ることができ、今までより仲を深めることができたのではないかと思う。6組女子

○大縄では一人ひとりから「みんなの為に」という強い気持ちを感じられて絆がよりいっそう深まりました。応援するときも常に全力で、とても優しいクラスだなと実感しました。あの雰囲気本当に楽しくて幸せでした。7組女子

### 「修学旅行の思い出」

3組担任

高校生活で最大級の行事といえば、やはり修学旅行ではないでしょうか？今年にはコロナ禍のため、予定通り進むのか気掛かりですが、現在の感染状況から考えると、何とか行けるかなと思っています。行先は沖縄ですが、11年前に初めて行ったとき、もう家に帰れなくてもいいやと思ったほど沖縄が大好きになったので、今度の修学旅行もとても楽しみにしています。

僕が高校生のときの修学旅行は、長野県ヘスキー合宿に行く予定でしたが、直前に阪神・淡路大震災が発生しました。震災の被害の大きさや、自宅や親を失った生徒が学年内にもいた状況から考えて、修学旅行が中止になるだろうことは予想できましたが、学校が再開されてからの学年集会で、修学旅行は中止ですと正式に言われたときは、やはり落胆したことを覚えています。

しかしその後、担任の先生から修学旅行の代替旅行をするという連絡がありました。3月に1泊2日で長崎のハウステンボスに行くというもので、学年の先生方が、修学旅行が中止のままになるのは気の毒だと、実行に力を尽くしてくれたおかげでした。僕は、修学旅行はもう無いと思っていたので、連絡を受けたときは素直に嬉しかったし、学年の先生方には今も感謝しています。余談ですが、神戸に帰る日の朝、起床してテレビをつけると、地下鉄サリン事件によるオウム真理教への強制捜査のニュースが流れており、ガスマスクを付けた警察官や装甲車が映っているのを見て、戦争が始まったと思い、先生に声をかけられるまで、友人とテレビの画面を呆然と見ていたという思い出もできました。

これらのことを思い出して、僕が改めて思うのは、無事に修学旅行に行けるということはあるがたいことなのだなということです。コロナ禍のため、震災の時同様、修学旅行の中止縮小を強いられた学校はたくさんあります。本校の修学旅行も予定どおり進められるかは今後の感染状況しだいの不透明な部分もあります。そんな時だからこそ、皆さんには特に健康に留意して修学旅行への準備を整え、楽しみ尽くして一生に一度の思い出にして欲しいと願っています。